

「しごと部会」 活動報告書

平成30年度（2018年度）
明石市地域自立支援協議会

（白紙）

平成30年度「しごと部会」活動報告書 目次

1. しごと部会本会議・・・・・・・・・・・・・・・・	1
・活動目的、委員構成、活動実績	
・平成30年度（2018年度）しごと部会活動実績報告	
2. ワーキング活動	
① チャレンジ！！チャレンジウィーク・・・・・・・・	7
・担当委員・コアメンバー紹介、活動実績	
・活動趣旨	
・第1回 チャレンジウィーク 実習後アンケート 集計結果	
・レポート Vol.27	
② B型事業所ネットワーク・・・・・・・・	16
・担当委員・コアメンバー紹介、活動実績	
・平成30年度 しごと部会 活動実績	
・製品作りのスキルアップ 「SWOT分析」 講師：畠 健太郎氏	
・平成30年度 しごと部会 B型事業所ネットワーク アンケート	
③ はたらくなかまのつどい・・・・・・・・	22
・担当委員・コアメンバー紹介、活動実績	
・おうちでできる「もっとおいしいコーヒー生活 ～みんなの苦労。なんでもしゃべり場～」 チラシ	
・おうちでできる「もっとおいしいコーヒー生活 ～みんなの苦労。なんでもしゃべり場～」 参加者アンケート	
・Let's ひとりぐらし講座 ～一人暮らしのいろんな話、聞いてください～ チラシ	
・Let's ひとりぐらし講座 ～一人暮らしのいろんな話、聞いてください～ 参加者アンケート	
・レポート Vol.25	
・レポート Vol.26	
④ 明石就労支援ネットワーク・・・・・・・・	37
・担当委員・コアメンバー紹介、活動実績	

しごと部会

活動目的

障害者の「しごと」「はたらくこと」に関するテーマを幅広く取り扱い、現状を把握し、課題の解決に取り組むことを目的とする。

委員

役職	所属	氏名
部会長	社会福祉法人明桜会 サポートセンター曙	山崎 正幸
副部会長	医療法人社団 Small Steps	馬場 麻里子
委員	社会福祉法人博由社 障害者支援施設博由園	加古 悦子
委員	明石公共職業安定所	高下 京子
委員	社会福祉法人明桜会 明石市障害者就労・生活支援センターあくと	渡邊 貴美
委員	兵庫県社会福祉事業団 総合リハビリテーションセンター あけぼのの家	人見 夏花
委員	NPO法人こぐまくらぶ こぐまくらぶ明石	小倉 美紀
委員	一般社団法人ななかまど ワークスペースななかまど	柿本 助宝
委員	明石市福祉局生活支援室障害福祉課	神納 真弓
委員	明石ろうあ協会	木戸 めぐみ
委員	社会福祉法人明石市社会福祉協議会 明石市基幹相談支援センター	南部 丈晴

オブザーバー

所属	氏名
兵庫県いなみ野特別支援学校	中西 園枝
社会福祉法人明桜会 明石市障害者就労・生活支援センターあくと	秋定 明彦

活動実績

日時	内容
平成30年 5月14日(月)	リポート配信 Vol.24
7月 2日(月)	第1回本会議
12月12日(水)	第2回本会議
12月14日(金)	リポート配信 Vol.25
平成31年 2月15日(金)	リポート配信 Vol.26

平成30年度しごと部会活動実績報告

1. しごと部会 活動方針

- ・くしごと部会>は、障がい種別にかかわらず、「めざせ就労！」をスローガンに、「明石市第4次障害者計画」に掲げる優先課題の解決に向け、顔の見えるネットワークづくりを通して議論を進めてきました。

2. しごと部会 本会議（委員11名、オブザーバー2名）

平成30年 7月 2日（月）第1回 本会議 「平成30年度専門部会 委員・オブザーバーの編成・平成30年度しごと部会活動計画（案）」
12月12日（火）第2回 本会議 「各ワーキンググループの進捗状況・地域自立支援協議会の地域課題の検討」

3. しごと部会 ワーキング活動実績

（1）チャレンジ！！チャレンジウィーク（担当：柿本・渡邊）

- ・障がいのある方の「はたらくこと」を幅広く捉え、身近な地域（生活圏）で気軽に会社の見学や体験できる仕組み（チャレンジ！！チャレンジウィーク）を作ることを検討するために平成29年度より活動を進めてきました。
- ・平成30年度は、明石市内の企業へ営業活動を行い、実習先の確保に努めました。平成31年2月に第1回 チャレンジ！！チャレンジウィークを実施しました。

平成30年 7月20日（金）第1回 コア会議 「年間活動予定・コープ大久保店での実習に向けて」
8月30日（木）第2回 コア会議 「年間活動予定・今後の実習先の開拓方法の検討」
10月 2日（火）第3回 コア会議 「営業活動の進捗状況とアンケート集計 ・企業との打合せと実習開始までの流れ、必要書類の検討」
10月30日（火） 「魚の棚商店街組合でのプレゼンテーションの打ち合わせ」
11月 5日（火） 「実習までの流れ、必要書類の検討」
11月14日（水） 「魚の棚商店街組合でのプレゼンテーションの打ち合わせ」
11月20日（火） 「魚の棚商店街組合でのプレゼンテーションの打ち合わせ」
12月10日（月） 「コープこうべ大久保店でのプレゼンテーション」
12月17日（月） 「実習までの流れ、必要書類の検討・事業所説明会に向けた内容の検討」
平成31年 1月 8日（火） 「魚の棚商店街組合 理事会にてプレゼンテーション」
1月10日（木） 「実習までの流れ、必要書類の検討・事業所説明会に向けた内容の検討」
1月18日（金） 「チャレンジ・ウィーク事業所説明会の実施」
1月28日（月） 「チャレンジ・ウィークの応募状況の把握と企業との事前打合せ等の調整」
2月25日（月）～3月 8日（金） 「チャレンジウィークの開催」 ※実施企業数 18企業 実習者数 28名 （就労継続支援B型事業所、就労移行支援事業所の利用者）
3月26日（火） 「チャレンジウィーク 活動の振り返り」

(2) B型事業所ネットワーク

①製品づくりのスキルアップ

- ・講師（プリズムデザインラボ 畠 健太郎 氏）を招き、自主製品の製作や販売に関する知識や技術の向上に向けた研修会を実施しました。

6月19日（火）	「平成30年度平成30年度年間活動計画の確認 事業所の強みと弱みを知るワークとディスカッション」
8月21日（火）	「現場の販促 その1 訴求力のあるディスプレイ」
10月16日（火）	「現場の販促 その2 自然な接客とコミュニケーションづくり」
12月18日（火）	「マーケティングを使って、客観的な視点で事業所をみる」
平成31年 3月19日（火）	「年間活動の振り返り 次年度に向けた意見交換」

②販売活動の促進

- ・自主製品の販売先(販路)の拡充として「県立高校内での販売（きずな）」や「コープこうべ大久保店での販売」などの活動に取り組みました。

平成30年度【明石清水高校】販売実績

月	食品	雑貨
4	こぐまくらぶ	パソコン工房おひさま
5	錦城の園	サポートセンター西明石
6	明石ヴィレッジ	ワークスペースななかまど
7	サポートセンター曙	ステップあっぷ西江井島
8	サポートセンター曙	ステップあっぷ西江井島
9	ふれあい作業所	就労支援あーち
10	こぐまくらぶ	サポートセンター西明石
11	錦城の園	ワークスペースななかまど
12	明石ヴィレッジ	ステップあっぷ西江井島
1	ふれあい作業所	サポートセンター翔
2	こぐまくらぶ	就労支援あーち
3	錦城の園	サポートセンター西明石

平成30年度【明石高校】販売実績

月	食品	雑貨
4	サポートセンター曙	就労支援あーち
5	明石ヴィレッジ	さくら工房
6	ふれあい作業所	パソコン工房おひさま
7	こぐまくらぶ	サポートセンター西明石
8	こぐまくらぶ	サポートセンター西明石
9	錦城の園	さくら工房
10	サポートセンター曙	ステップあっぷ西江井島
11	ふれあい作業所	就労支援あーち
12	こぐまくらぶ	パソコン工房おひさま
1	錦城の園	サポートセンター西明石
2	(なし)	さくら工房
3	ふれあい作業所	ステップあっぷ西江井島

平成30年度 コープこうべ大久保店 自主製品販売活動実績

～2事業所（それぞれ食品と雑貨を取り扱う事業所）のみの販売活動の概要と実績～

- ・参加事業所数：10事業所
- ・販売活動時期：原則偶数月（12月の開催を翌月1月に実施）

原則第4火曜日（6月は第4水曜日実施）

- ・販売時間：午前11時から午後1時30分（10：30搬入 14：00撤収）
- ・販売場所：1階フロア内

活動実施日（5回開催）	参加事業所（食品）	参加事業所（雑貨）
4月25日（火）	ハッピークラフト	ワークスペース・ななかまど
6月27日（水）	ふれあい作業所	ステップあっぷ西江井島
8月28日（火）	こぐまくらぶ明石	サポートセンター翔
10月23日（火）	リーフあかし	就労支援・あーち
平成31年 1月29日（火）	サポートセンター曙 のぞみ	木の根学園

～ふれあいサロンさつき（コープこうべ会員の活動）との共同販売活動の概要と実績～

- ・参加事業所数：10事業所
- ・販売活動時期：奇数月、原則第3木曜日
- ・販売時間：午前10時30分から午後0時30分（10：00搬入 13：00撤収）
- ・販売場所：1階フロア内

活動実施日（5回開催）	参加事業所（食品）	参加事業所（雑貨）
5月17日（木）	リーフあかし	ワークスペース・ななかまど
7月19日（木）	ふれあい作業所	就労支援・あーち
9月20日（木）	明石ヴィレッジ	サポートセンター翔
11月15日（木）	こぐまくらぶ明石	木の根学園
平成31年 1月17日（木）	明石錦城の園	ユア・ステップ

③支援の質の向上

- ・現場の支援についての課題の共有と共通課題についての事例検討を行いました。

平成31年 2月19日（火）

「事例検討 利用開始から、会話の少ないAさんの働き掛け

～自分の気持ちの表現を一緒に考える～」

事例提供者：Small Steps 近澤 恵子 氏・宮本 紗綾 氏

(3) はたらくなかまのつどい

- ・就労されている方達、就労を希望される方達の交流の場の提供やイベントなどの企画運営を当事者も参加し、内容等の検討を行いました。

平成30年 8月 2日(木) 第1回 コア会議 「昨年度の活動の振り返りと平成30年度の活動内容の検討」
平成30年 8月20日(木) 第2回 コア会議 「昨年度の活動の振り返りと平成30年度の活動内容の検討」
9月19日(水) 第3回 コア会議 「活動内容・開催時期等の検討」
11月 6日(水) 第4回 コア会議 「第1回(11/17(土)開催) はたらくなかまのつどいの打ち合わせ」
11月17日(土) 第1回 はたらくなかまのつどいの開催 「おうちでできる もっとおいしいコーヒー生活・みんなの苦労。なんでもしゃべり場」 参加人数：利用者13名 職員 8名
12月11日(火) 「第1回の活動の振り返りと第2回(1/19(土)開催)はたらくなかまのつどいの打ち合わせ」
平成31年 1月19日(土) 第2回 はたらくなかまのつどいの開催 「Let's ひとりぐらし講座 ～一人暮らしのいろんな話、聞いてください～」 参加人数：利用者24名 職員 11名
2月 5日(火) 第5回 コア会議 「年間活動の振り返りと次年度の取り組みに向けた意見交換」

(4) 明石就労支援ネットワーク

- ・明石市における障害者の一般就労について具体的に検討するワーキングチームとして位置付け、明石市第4次障害者計画(1-1・1-2, 1-3)の実現を念頭に置き活動を実施しました。企業で働くために、働き続けるためにという視点を持ち、各機関が有機的に連携しながら明石市全体の就労支援のスキルアップを目指しました。

【定例会】

- ・障害者の就労支援に関する情報を共有し、課題について具体的に検討する会議(定例会)を年3回開催し、明石市を取り巻く就労支援の現状把握に努めました。
- ・明石市として取り組むべきことや施策提言については、しごと部会本会議へ提案を行った。
- ・開催日：平成30年 5月17日(金)、8月23日(木)、平成31年2月22日(金)

【全体会】

- ・明石市を取り巻く障害者雇用に関する情報交換を行う会議(全体会)を年1回開催し、労働行政・福祉行政と就労移行支援事業所・相談機関・教育機関が集い、意見交換を行った。
- ・開催日：平成30年11月22日(木)

【あかし就労支援サポートブックの作成】

- ・当ネットワークとしての就労支援に必要な情報等を集約し、支援者、当事者家族が活用し易い、冊子を作成しました。就労移行支援事業所を利用し、就職を目指す利用者像を示し、各教育機関とも連携し、サポートブックの活用と周知に努めた。

平成30年度 明石市地域自立支援協議会 しごと部会 本会議 ・ ワーキング活動 等 スケジュール

月	全体会 (明石市地域 自立支援協議会)	本会議 (部会議)	WG 1 チャレンジ!! チャレンジ・ウィーク	WG 2 B型事業所ネットワーク (原則、偶数月に開催)	WG 3 はたらくなかまのつど い	WG 4 明石就労支援 ネットワーク	リポー ト配信
4				明石清水高・明石高 販売活 動(きずな)実施期間 平成30年4月～平成31年3月 コープこうべ 大久保店 販売活動 4/25(火)			
5				コープこうべ 大久保店 販売活動 5/17(木)		①定例会 5/17(金) (明石市立市民会館)	5/14 vol24
6				コープこうべ 大久保店 販売活動 6/27(火)			
7	①7/4(水) (明石市立 市民会館)	①7/2(水) (明石市立総合 福祉センター)	①コア会議 7/20(金) (SmallSteps)	コープこうべ 大久保店 販売活動 7/19(火)			
8			②コア会議 8/30(木) (明石市役所)	②B型事業所ネットワーク 8/21(火) (明石市立総合福祉センター) コープこうべ 大久保店 販売活動 8/28(火)	①コア会議 8/2(木) (SmallSteps) ②コア会議 8/20(木) (明石市立 総合福祉センター)	②定例会 8/23(木) (明石市立市民会館)	
9		②12/12(水) (明石市役所)		コープこうべ 大久保店 販売活動 9/20(木)	③コア会議 9/19(水) (明石市立 総合福祉センター)		
10	②10/10(水) (明石市立 勤労福祉会館)		③コア会議 10/2(火) (明石市立総合福祉センター) 魚の棚商店街組合にてプレ ゼンテーション打ち合わせ 10/30(火)	③B型事業所ネットワーク 10/16(火) (明石市立総合福祉センター) コープこうべ 大久保店 販売活動 10/23(火)			
11	③11/21(水) (明石市立 市民会館)		④コア会議 11/5(火) (明石市立総合福祉センター) 魚の棚商店街組合にてプレ ゼンテーション打ち合わせ 11/14(水) 魚の棚商店街組合にてプレ ゼンテーション打ち合わせ 11/20(火)	コープこうべ 大久保店 販売活動 11/15(木)	④コア会議 11/6(水) (明石市立 総合福祉センター) 第1回 はたらくなかまのつどい 開催 11/17(土) (明石市立 生涯学習センター)	全体会 11/22(木) (明石市立市民会館)	
12			コープこうべ大久保店にて プレゼンテーション 12/10(月) ④コア会議 12/17(月) (明石市役所)	④B型事業所ネットワーク 12/18(火) (明石市立総合福祉センター)	⑤コア会議 12/11(火) (明石市立 総合福祉センター)		12/14 vol25
1			魚の棚商店街組合 理事会にて プレゼンテーション 平成31年1/8(月) ⑤コア会議 1/10(木) (明石市役所) チャレンジ・ウィーク 事業所説明会の実施 1/18(金) (明石市役所) ⑥コア会議 1/28(月) (明石市役所)	コープこうべ 大久保店 販売活動 平成31年 1/17(木)・1/29(火)	第2回 はたらくなかまのつどい 開催 平成31年 1/19(土) (明石市立 生涯学習センター)		
2	④平成31年 2/13(水) (明石市役所)		2/25(月)～3/8(金) チャレンジ・ウィークの開 催 実習企業数18企業 実習者数28名	⑤B型事業所ネットワーク 2/19(火) (明石市立総合福祉センター)	⑤コア会議 2/5(火) (明石市立 総合福祉センター)	③定例会 平成31年 2/22(金) (明石市立市民会館)	2/14 vol26
3			⑦コア会議 3/26(火) (明石市役所)	⑥B型事業所ネットワーク 3/19(火) (明石市立総合福祉センター)			

ワーキング① 「チャレンジ！！チャレンジウィーク」

活動目的

一般就労にチャレンジしたい障がい者が、身近な生活圏で気軽に職場体験ができる仕組み（チャレンジウィーク）を作る。

職場体験を通じて、障がい者がより自分らしい働き方を見つけられるよう支援すると共に、地域社会に対して障がい者への理解促進を図る。

担当委員

ワークスペースななかまど	柿本 助宝
明石市障害者就労・生活支援センターあくと	渡邊 貴美
明石ろうあ協会	木戸 めぐみ
明石市障害福祉課	神納 真弓

オブザーバー

明石市障害者就労・生活支援センターあくと	秋定 明彦
----------------------	-------

コアメンバー

多機能型事業所あけぼのの家	人見 夏花
Small Steps	堀越 康憲
ステップあっぷ西江井島	田中 宏和
明石市障害福祉課	幸田 秀樹

活動実績

日時	内容
平成30年 7月20日（金）	第1回 コア会議
8月30日（木）	第2回 コア会議
10月 2日（火）	第3回 コア会議
10月30日（火）	魚の棚にて打ち合わせ
11月 5日（火）	第4回 コア会議
11月14日（水）	魚の棚にて打ち合わせ
11月20日（火）	魚の棚にて打ち合わせ
12月10日（月）	コープこうべ大久保店にてプレゼンテーション
12月17日（月）	第5回 コア会議
平成31年 1月 8日（火）	魚の棚商店街組合 理事会にてプレゼンテーション
1月18日（金）	チャレンジ・ウィーク事業所説明会実施
1月28日（月）	第6回 コア会議
2月25日（月）～3月8日（金）	チャレンジウィークの開催 ※実施企業18企業
3月26日（火）	第7回 コア会議

チャレンジ!チャレンジウィーク

明石市地域自立支援協議会しごと部会
ワーキング1ーチャレンジ!チャレンジウィーク

『明石市に住む障害者が身近な街で自身の能力を活用しはたらく』ことに焦点を当てた活動

～「就労実習に関するアンケート調査」での案内より一部抜粋～

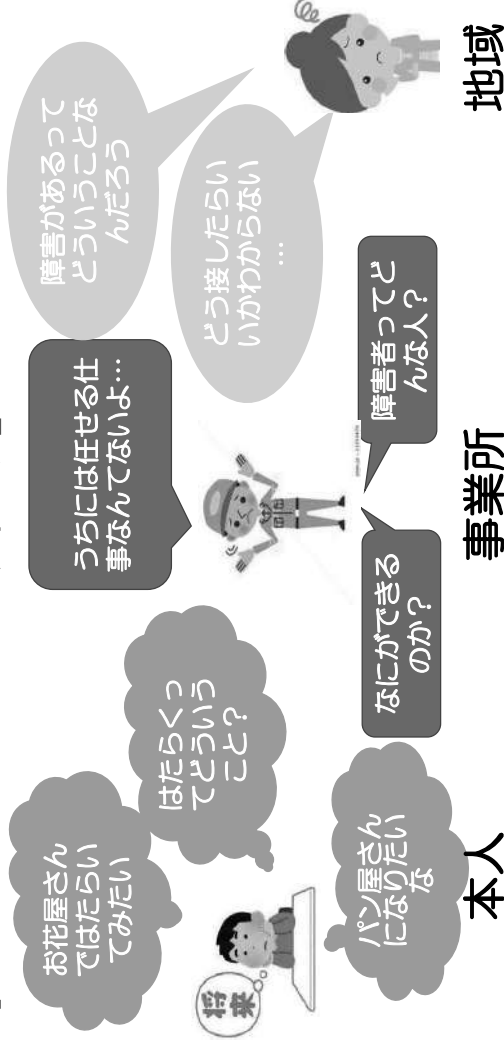
現在、明石市では多くの障害者が様々な場・雇用形態ではたらいいます。「身近な街で自身の能力を活用してはたきたい!」と思っている障害者は多く存在し、日々障害者就労支援施設で就労に向けての訓練等に取り組んでいます。こういった方々のはたらく場所を拡げていく為には企業・経営者の皆様のご協力が必要です。この度、より皆様に「障害者がはたらくこと」に興味を持っていただき、障害者のはたらく場への協力をお願いできないか、と思い**障害者版のトライやるウィーク**のような取り組みを明石市に導入できないか、と思索しております。

『明石市に住む障害者が身近な街で自身の能力を活用しはたらく』ことに焦点を当てた活動

～「就労実習に関するアンケート調査」での案内より一部抜粋～

現在、明石市では多くの障害者が様々な場・雇用形態ではたらいいます。「身近な街で自身の能力を活用してはたきたい!」と思っている障害者は多く存在し、日々障害者就労支援施設で就労に向けての訓練等に取り組んでいます。こういった方々のはたらく場所を拡げていく為には企業・経営者の皆様のご協力が必要です。この度、より皆様に「障害者がはたらくこと」に興味を持っていただき、障害者のはたらく場への協力をお願いできないか、と思い**障害者版のトライやるウィーク**のような取り組みを明石市に導入できないか、と思索しております。

『チャレンジ!チャレンジウィーク』が生まれるまで



『チャレンジ!チャレンジウィーク』が生まれるまで

本人

事業所

地域

はたらく
体験

はたらいて
もらう体験

職域開拓・雇用促進

知り合う
体験

地域の方々の
啓発活動

みんなそれぞれの立場で
体験してもらうと良いのでは？



そんな中で出来上がったイメージは...

『中学生のトライやるウィーク』のイメージ

身近な地域で、中学生がのびのびと職場体験している風景を地域の方が
優しく見守っている。本人の働く体験・事業所の活性や意識改革・地域
の受け入れや理解、これらが自然と受け入れられてきた。

この形を「障害のある方が地域で当たり前に」はたらくためのステップ
に」

年間のある時期、一定期間を「障害のある方々の職場体験期間」と設定す
るのはどうかなあ

具体的にはどのように進めていこうか...

「企業へのアプローチ」 ニーズを知る

「地域・事業所に知ってもらう」セミナー開催や訓練事業所見学など

「対象者・対象事業所の絞り込み」

事業所開拓？モデル地区を設定してみる？

実習生の情報は？（配慮点・障害特性）実習生シートの作成

あくまでも「仕事体験」

平成30年秋頃の実施を目指す！

一般の仕事に結びつかなくてもいい。

もちろん、先に雇用が目指せるなら歓迎

企業の考えを知ろう

アンケート調査

・アンケート作成、配布

・PR用の動画作成

目指したい最終的なイメージ

チャレンジ!チャレンジウィーク

●期間...平成31年2/25(月)～3/8
(金)の間、1日の体験から可能。
受け入れ事業所と実習者間で決定

●実習者...明石にお住いの障害のある方
(B型・移行・一般・学生、など支援者
がいれば所属は不問)

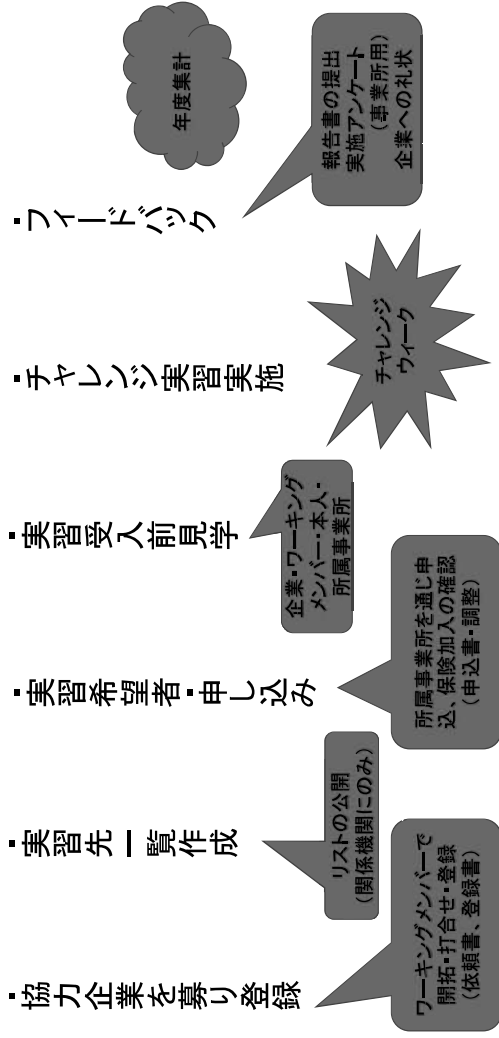
●障害のある方が住み慣れた街「明石」
であたりまえに働く景色が、市民の日常
であたりまえの景色になるように。



その他

- ・チャレンジウィークに参加しているイコール何らかの障害があるという事を広くオープンにすることになる。知られたくない人もいる。(〇〇さん家の△△くんやで)
- ・実習期間中の支援者の配置。ひとりひとりに支援者がべったりつくことができるか。(実習依頼書、情報提供シート等の準備)
- ・受け入れ事業所のメリットは？(協力金？ホームページでの企業名掲載？表彰？)
- ・継続していくための工夫
- ・作成したアンケートは市内事業所へ一斉送付してはどうか、集計等
- ・今年度11月に第1回目を限定エリアで「やってみる」とすれば、どんな準備が？
(のぼりやステッカーは必要か。広報発信の仕方など)

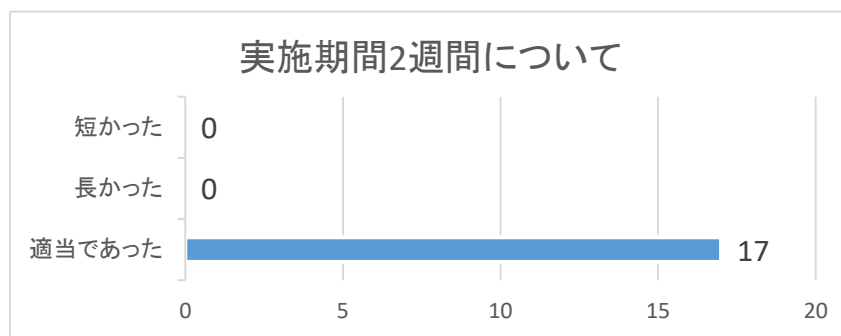
流れ



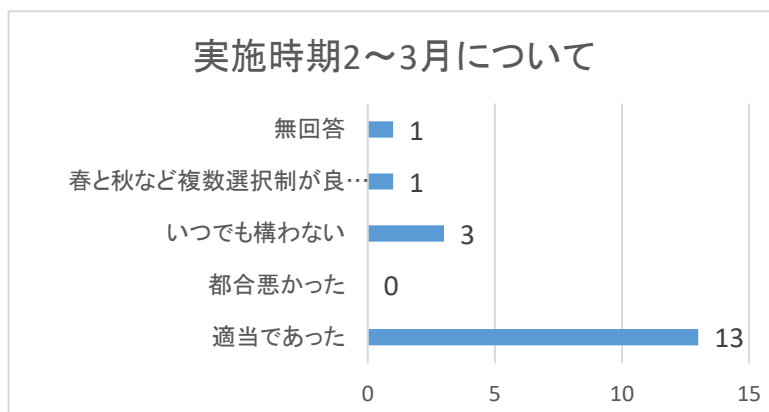
チャレンジウィーク 実習後アンケート集計

実施期間	平成31年2月25日～3月8日
実施企業名	明石乗馬協会、上新電機(株)明石店、あかし市民図書館、マクドナルド明石店、マクドナルドイオン明石2番街店、マクドナルド250魚住店、コープ魚住店、コープ大蔵谷店、コープ西明石店、コープ朝霧店、元気あっぴ大久保デイサービスセンター、西江井ヶ島デイサービス、ティーエス808、マルアイ北大久保店、マクドナルド大蔵谷インター店、マルアイ硯町、コープ大久保店、大和製衡 以上、18事業所
実習者数	28名
アンケート回収 総数	17件 (複数回答：1事業所、未回収：2事業所)

1. 実施期間(平成31年2月25日～3月8日 の2週間)設定について

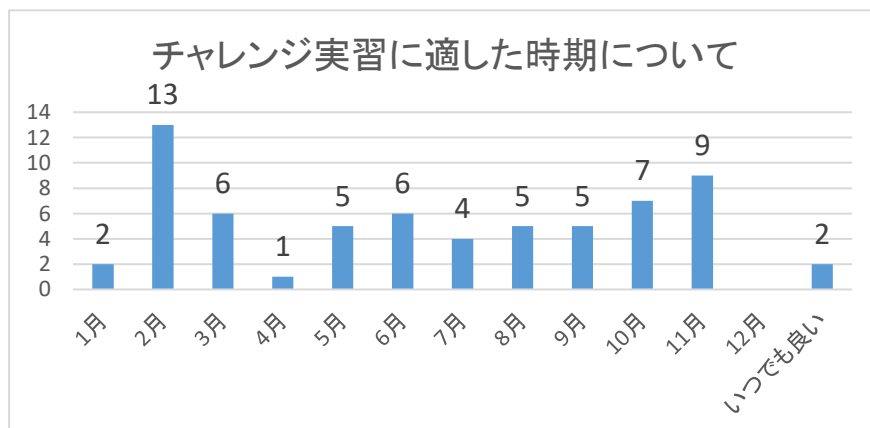


2. 実施時期の2月～3月での設定について



3. 一年のうち、チャレンジ実習を行うのに一番適した時期はいつですか。(複数回答可)

- 3月の受入は厳しい (マルアイ)
- 前もって時期を相談させてほしい。
1～2ヶ月以上前 (コープ西明石)



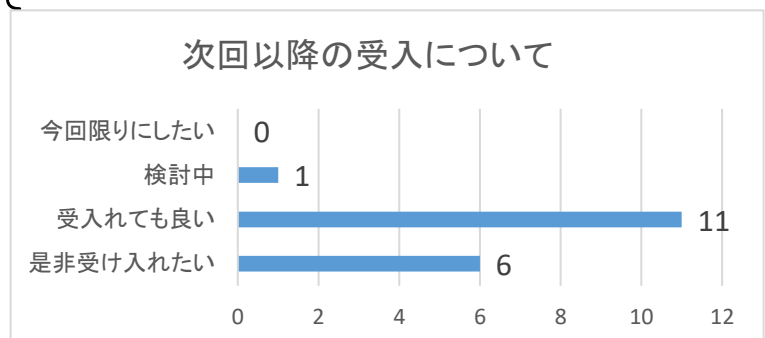
4. 実習生のとりくみ姿勢について

- こちらが見習わなければいけないくらい真面目に勤務してくれました。言われた事は確実に言い、分からないことがあれば聞きに来てくれ安心して仕事を任せられました。また作業のスピードも思っていた以上に速かったです。
- 実習生それぞれが、目標に沿って取り組まれていました。
- 2日間という短い期間でしたが一所懸命に取り組んでくれました。スマイルが素敵でした!!
- 5日間きっちりとハンバーガーの製造に徹してくれました。興味があると質問したり自分でやりたい!!と主張もしてくれてうれしかったです!!
- 初めは緊張されていましたが、積極的に新しいことに取り組んでくれていました。
- 分からない事、不安に思う事などは進んで聞いてミスなく仕事をするという姿勢がとても感じられました。とても頑張っていたいただきました。
- すべての作業に対して本当にまじめに取り組んで頂いたと共に笑顔と挨拶を絶やさず非常に好印象!!
- よい。指示内容を理解してしっかり作業できています。
- 真剣に挨拶作業を実践しておられました。一所懸命さが伝わりました。
- 緊張していましたが遅刻等もなくまじめに取り組めていた。
- 職員の指導のもと頑張って取り組まれていました。利用者様とコミュニケーションをとるのは大変そうに感じました。
- 大変良いことだと思う。
- 好感が持てた。
- 好感が持てた。

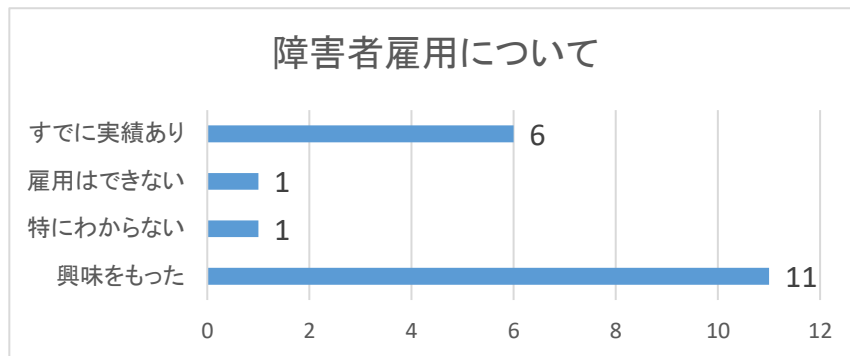
5. 支援者のサポート姿勢について

- 安全管理義務の観点から対応してもらいました。
- 事前にしっかりと打合せも行っていただきましたので安心して受け入れることができました。
- 特に問題ありません。
- あいさつがしっかりできていて感心しました。仕事も一生懸命興味をもって取り組んでおられました。
- ずっと私たちからも近いところで見守って頂けたので安心できました。
- 2日目以降からはサポートありませんでしたが全く不安はありませんでした。4日目に1度顔を出されましたが見守って安心しておられました。
- 出来るだけ本人が自主的に行動できるようにサポートされていたと思います。
- 今回については特にサポートは不安でしたので・・・
- 昼食時間は一緒にすごしてあげてほしい。
- 的確にフォローして頂き、受入側としては大変助かりました。
- 適切であった。
- それぞれの実習生に合わせた対応をしてもらいました。
- 問題ないと思います。
- 好感が持てた。

6. 次回以降のチャレンジ実習受入について



7. 障害者雇用について



8. その他、ご意見等がございましたらご記入ください。

- 前向きに仕事に取り組む姿は素晴らしいと思います。また挨拶もしっかりできており今後自信をもってがんばってもらいたいと思います。
- 休憩中のサポートや初日の付き添いをして下さり安心しました。
- 今回はこちらこそ貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。
- 短い期間でしたがお店のスタッフにとってもいい経験をさせていただきました。ありがとうございました。
- 今後も是非受け入れていきたいと思っています。よろしくお願いします。
- 障害レベルの軽い方なら。
- 実習生の個性によって、出来る作業に差があると思いますが、現在店舗で短期間研修するのであれば”あいさつ”と”商品補充”が中心になります。今回は事前の打ち合わせと支援者の方の付き添いがありスムーズにすすめることができました。
- 障害者の雇用について良いイメージをもてました。考えるいい機会になりました。
- コミュニケーション能力が重要になってくるの仕事ですので、苦手な人には難しい実習先なのかなと感じました。
- 来年も協力したいと思っています。 業務スーパーの方でも大丈夫です。

令和元年度（2019年度） 明石市地域自立支援協議会

しごと部会 リポート Vol. 27 令和元年（2019年）5月31日発行

発行元：明石市地域自立支援協議会 しごと部会 事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター 1階）
電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています

第1回（平成30年度 2018年度）チャレンジウィーク活動報告

～身近な明石の街で気軽に就労体験ができる機会／職場体験実習～

しごと部会ワーキンググループ「チャレンジ！チャレンジウィーク」では、平成28年度から『明石市に住む障がい者が身近な街で自身の能力を活用しはたらく』ということに焦点を当て活動に取り組んでいます。

3年間の活動実績

平成28年度 (2016年度)	・明石市における障がい者の就労実習に関するアンケートの内容検討と作成 (就労実習における企業側の考え(ニーズ)を知る)
平成29年度 (2017年度)	・明石市内の企業に対して、障がい者の就労実習に関するアンケート調査への依頼 ・集計と営業活動(受け入れ企業の開拓)の実施 ※就労セミナー、雇用セミナー等で活動の周知
平成30年度 (2018年度)	・障がい者の就労実習に関するアンケート調査への依頼 ・営業活動(受け入れ企業の開拓)の実施、明石市内の就労継続支援B型事業所 ・就労移行支援事業所への説明会の実施、魚の棚の理事会で活動の周知 ・第1回 チャレンジウィークの開催と活動の振り返り



去る平成31年（2019年）2月25日（月）～3月8日（金）の間でチャレンジウィークを開催しましたので、以下のとおり、活動報告させていただきます。

第1回目の活動は、「小規模でも実施してみても、挙がってくる課題を整理し次に繋げる」ということを目的としました。“雇用を前提とせずに気軽に就労体験ができる”という活動趣旨で、就労系事業所に通う利用者28名が18か所の企業で実習を行いました。

実習中の様子について、実習された方にとっては、事前の企業見学・打ち合わせでは緊張した様子でしたが、企業担当者の丁寧な教えもあり、実習中は皆さん良い表情で実習をされていました。短い実習期間でありましたが、企業ではたらくこと体験を通して、達成感を感じたり、自信を付ける機会になりました。企業実習に同行した事業所職員にとっては、“はじめての同行で緊張した”“今すぐは無理だろうけど、時期が来たら送り出したいです”という前向きな意見も聞け、参加事業所にとっても良い実習機会になりました。受け入れ企業にとっては、“挨拶もしっかりされ、真面目に取り組んでいました”、“次も受け入れたいと思います”職員が学ぶことができた“という感想をいただきました。



実施期間	平成31年（2019年）2月25日（月）～3月8日（金）
実施企業名	明石乗馬協会、上新電機（株）明石店、あかし市民図書館、マクドナルド明石店、マクドナルドイオン明石2番街店、マクドナルド250魚住店、マクドナルド大蔵海岸店、コープ魚住店、コープ大蔵谷店、コープ西明石店、コープ朝霧店、元気あっぱ大久保デイサービスセンター、西江井ヶ島デイサービス、ティーエス808、マルアイ北大久保店、マルアイ硯町店、コープ大久保店、大和製衡（株） 以上、18事業所
実習者数	28名（就労継続支援B型事業所、就労移行支援事業所の利用者）

それぞれの立場（実習参加者＝はたらく体験・自信の回復、事業所＝本人の本来の力を知る・送り出すための支援、企業＝障がいの理解・就労の可能性を知る機会）で活動が一步前進したことを実感できる活動になりました。

就労継続支援 B 型事業所に目を向ければ、「障がいのある方の働くはたらくことを支え、応援しています」と言いつつ、「福祉的就労」からの脱却には繋がっていないのが現実でした。そんな中で、「チャレンジウィーク」の取り組みは、我々の視点を変え、幅広い角度から実習生を観ていただくことに繋がりました。「働く経験」を通じて、後の感想に述べられているような企業の人と繋がり、仕事ぶりが認められることによる充実感、満足感という実感が得られました。彼等が人生を豊かに生きていくために、合理的な配慮と“はたらく”ことは欠かせません。

実習の流れ

① 参加者募集 ⇒ ②参加申込書の提出（実習先の選定）⇒ ③実習先の見学と担当者との事前打ち合わせ ⇒ ④実習開始（最終日に担当者との振り返り）⇒ ⑤報告書の提出

就労に直結する実習ではありませんが、将来的に企業就労を考えている障がい者に気軽に参加していただけるよう、活動を継続していきたいと考えています。

今年度もチャレンジ・ウィークの活動にご協力くださいますようよろしくお願いします。



< 実習者の声 >

- ・お客さんから声を掛けられた時、緊張しました。従業員が親切でとても感じが良かったです。
- ・バックヤードの仕事の大変さが分かりました。
- ・商品補充や陳列をすることの大切さを知りました。また、この経験を生かしていきたいです。
- ・職場の方たちが優しく接してくれました。仕事の大変さが分かって良かったです。
- ・介護実習で初めは凄く緊張しましたが、少しずつ利用者と楽しいお話をしながら、一緒に工作をしたり、お散歩して楽しい1週間でした。
- ・自宅では、配膳や下膳をしたことがないので良い経験になりました。今までも介護の仕事に興味はなかったけど、実習に行き少し興味が湧きました。久しぶりの仕事で疲れました。他の所も行ってみたいです。

< 事業所職員の声 >

- ・コミュニケーションが取れるか心配していましたが、本人から“慣れてくるとできました”と報告があり、苦手なこともできるという自信が持てたと思います。
- ・企業の方が優しく丁寧に教えて下さり、リラックスして作業をすることができました。はじめての作業に対して、根気良く、何度も教えていただいていたので良かったです。
- ・実習を通して、今後、事業所で取り組んでいく課題（コミュニケーション）が分かって良かったです。
- ・生き生きと仕事をしていたことが印象的でした。多様な場面に関わらせていただき、経験の拡大に繋がりました。本人もこのような職種で働いてみたいという思いにも繋がったようです。
- ・振り返りの時に“障がいがあっても訓練をすれば店長から褒めてもらえるような仕事ができることを感じてもらえて嬉しいです”と答えている姿が印象的でした。
- ・実際の働く場で時間を過ごすことは、ブランクのあるご本人にとって良い経験でした。店舗のスタッフさんが付きっきりでサポートしてくださり、本人の安心感に繋がったと思います。
- ・B型事業所において、外部での就労体験は、なかなか提供できていませんでしたので、実際の現場を経験されたことは、本人にとって良い就労場面で良かったです。
- ・実習中の付き添いが不要だったので、多少の心配はありましたが、実習の振り返りで様子を知ることができ、安心しました。また、就職先のひとつとして捉えることができたことが良かったです。
- ・働いてお金をもらうということが、少しイメージできたという言葉聞くことができ、とても良い経験になったと思います。

< 受け入れ企業の声 >

- ・こちらが見習わなければいけないくらい真面目に勤務してくれました。言われた事は確実に言い、分からないことがあれば聞きに来てくれ安心して仕事を任せられました。また作業のスピードも思っていた以上に速かったです。
- ・2日間という短い期間でしたが一所懸命に取り組んでくれました。スマイルが素敵でした!!
- ・分からないこと、不安に思うことなどは進んで聞いてミスなく仕事をするという姿勢がとても感じられました。とても頑張ってくださいました。
- ・職員の指導のもと頑張っておりました。利用者様とコミュニケーションをとるのは大変そうに感じました。
- ・すべての作業に対して本当にまじめに取り組んで頂いたと共に笑顔と挨拶を絶やさず非常に好印象!!
- ・真剣に挨拶を実践しておられました。一所懸命さが伝わりました。
- ・前向きに仕事に取り組む姿勢は素晴らしいと思います。また挨拶もしっかりできており今後自信をもってがんばってもらいたいです。
- ・実習生の個性によって、できる作業に差があると思いますが、現在店舗で短期間研修するのであれば“あいさつ”と“商品補充”が中心になります。今回は事前の打ち合わせと支援者の方の付き添いがありスムーズにすすめることができました。
- ・今後も是非受け入れていきたいと思っています。よろしくお願いします。



ワーキング② 「B型事業所ネットワーク」

活動目的

就労継続支援B型事業所のネットワークを構築し、事業所運営や利用者支援に関する情報共有や現状把握、課題抽出を行っていく。自主製品の販売については、販売技術の向上や販路拡大を目指し、利用者の工賃アップにつなげていく。

担当委員

多機能型事業所あけぼのの家	人見 夏花
こぐまくらぶ明石	小倉 美紀
博由園相談支援事業所	加古 悦子

活動実績

日時	内容
平成30年4月 ～平成31年3月	県立高校内での販売活動（きずな） ※毎月開催 ・県立明石清水高校 ・県立明石高校 コープこうべ大久保店での販売活動 ※10回開催
6月19日（火）	平成30年度 年間活動計画の確認 製品づくりのスキルアップ ①
8月21日（火）	製品づくりのスキルアップ ②
10月16日（火）	製品づくりのスキルアップ ③
12月18日（火）	製品づくりのスキルアップ ④
2月19日（火）	支援の質の向上 事例検討
3月19日（火）	平成30年度 年間活動計画の振り返り

①全体会議

- ・ 6 月 19 日 (火) 第 1 回 B 型事業所ネットワーク (明石市立総合福祉センター)
(議 事) 平成 30 年度年間活動計画 (案) の確認
- ・ 平成 31 年 3 月 26 日 (火) 第 6 回 B 型事業所ネットワーク (明石市立総合福祉センター)
(議 事) 平成 30 年度の活動の振り返りと次年度に向けた意見交換

②販売活動の促進

1) 県立高校での販売活動 (きずな)

※別紙、実績報告参照

2) コープこうべ大久保店での販売活動

- ・ 5 月 17 日 (木) ふれあいサロンさつき共同販売
※参加事業所 リーフあかし・ワークスペースななかまど
- ・ 6 月 27 日 (水) 自主製品の販売活動 ※参加事業所 ふれあい作業所・ステップあつぷ西江井島
- ・ 7 月 19 日 (木) ふれあいサロンさつき共同販売 ※参加事業所 ふれあい作業所・就労支援あーち
- ・ 8 月 28 日 (火) 自主製品の販売活動 ※参加事業所 こぐまくらぶ明石・サポートセンター翔
- ・ 9 月 20 日 (木) ふれあいサロンさつき共同販売
※参加事業所 明石ヴィレッジ・サポートセンター翔
- ・ 10 月 23 日 (火) 自主製品の販売活動 ※参加事業所 リーフあかし・就労支援あーち
- ・ 11 月 15 日 (木) ふれあいサロンさつき共同販売
※参加事業所 こぐまくらぶ明石・木の根学園
- ・ 平成 31 年 1 月 17 日 (木) ふれあいサロンさつき共同販売
※参加事業所 明石錦城の園・木の根学園
- ・ 1 月 29 日 (火) 自主製品の販売活動 ※参加事業所 サポートセンター曙 のぞみ・木の根学園

③製品づくりのスキルアップ (製品の質の向上) 講師: プリズムデザインラボ 畠 健太郎 氏

- ・ 6 月 19 日 (火) 第 1 回 B 型事業所ネットワーク (明石市立総合福祉センター)
(議 事) 「事業所の強みと弱みを知るワークとディスカッション」
- ・ 8 月 21 日 (火) 第 2 回 B 型事業所ネットワーク (明石市立総合福祉センター)
(議 事) 「現場の販促 その 1 訴求力のあるディスプレイ」
- ・ 10 月 16 日 (火) 第 3 回 B 型事業所ネットワーク (明石市立総合福祉センター)
(議 事) 「現場の販促 その 2 自然な接客とコミュニケーションづくり」
- ・ 12 月 18 日 (火) 第 4 回 B 型事業所ネットワーク (明石市立総合福祉センター)
(議 事) 「マーケティングを使って、客観的な視点で事業所をみる」

④支援の質の向上

- ・ 平成 31 年 2 月 19 日 (火) 第 5 回 B 型事業所ネットワーク (明石市立総合福祉センター)
(議 事) 「事例検討 利用開始から、会話が少ない A さんへの働きかけ
～自分の気持ちの表現を一緒に考える～」

事例提供者: S m a l l S t e p s

近澤 恵子 氏・宮本 紗綾 氏

SWOT 分析 目標を達成するための戦略を考えるための分析方法

強み (Strengths)、弱み (Weaknesses)、機会 (Opportunities)、脅威 (Threats)

S【強み】：目標達成に貢献する組織の特質

..... 「どのように強みを活かしますか？」

W【弱み】：目標達成の障害となる組織の特質

..... 「どのように弱みを克服しますか？」

O【機会】：目標達成に貢献する外部の特質

..... 「どのように機会を利用しますか？」

T【脅威】：目標達成の障害となる外部の特質

..... 「どのように脅威を取り除く、または脅威から身を守りますか？」

プラス面

マイナス面

S	W
O	T

内部環境

外部環境

SWOT分析

アート・クラフトを主体とした作業所の例

強み (Strengths)、弱み (Weaknesses)、
機会 (Opportunities)、脅威 (Threats)

S【強み】：「どのように強みを活かしますか？」

W【弱み】：「どのように弱みを克服しますか？」

O【機会】：「どのように機会を利用しますか？」

T【脅威】：「どのように脅威を取り除く、または脅威から身を守りますか？」

目的「障がい者アートで自立のための収益を生み出したい。」

プラス面

マイナス面

S

- ・専門的な支援員・指導員の充実
- ・放課後デイ連携で利用者を若いうちから育てる
- ・作品は完全に一点もので魅力がある

W

- ・まだまだ認知度が低い
- ・芸術とデザインとの違いなどスタッフでもわかりにくい
- ・創作活動での親の理解
- ・流通など製品化の壁

O

- ・障がい者芸術祭(2020)にむけた追い風
- ・一般の中で社会参画意識の高まり
- ・ウェブメディアや雑誌でも障がい者アートが多くなりあげられてきている。

T

- ・似た活動が増えている
- ・まだまだ理解に乏しい社会の目
- ・工賃ごとではないので、不安定な収益にならざるをえないが、報酬改定の影響を受ける。

内部環境

外部環境

平成 30 年度 しごと部会 B 型事業所ネットワーク アンケート (n=13)

1. 平成30年度のB型事業所ネットワークの活動についてお尋ねします。

(1) 活動参加したことがありますか。

ある 11 ない 2

「ある」と回答された方にお尋ねします。日々の実践や事業所活動に活かされましたか。

活かされた 1 いくらか活かされた 11 無回答 1

「ない」と回答された方にお尋ねします。参加したことがない理由もしくは参加できない理由をお聞かせください。

- ・開催時期が、送迎時間と被る。
- ・自主製品はあるが、職員と利用者の手が回らないので、これ以上の生産はできないため、積極的な変革や販売網の拡大を今は考えられないから。

2. それぞれの活動についてお尋ねします。感想や改善点・工夫などをお聞かせください。

(1) 販売活動の促進

県立高校での販売活動 参加した 9 ・ 参加していない 4

- ・季節に合わせた商品を持って行きましたが、売上は振るわなかったです。今後の参考として、商品や価格に対するご意見などを伺う機会があればと思いました。
- ・売上高は正直あまり見込めないが、利用者さんと一緒に学校へ訪問するというイベント感覚で楽しみに学校訪問することができている。
- ・前年度に比べると売上が上がってきています。大分、認知していただき、購入しているのか感じています。来年度も継続していけたらと考えています。
- ・製品を置かせていただき、少し目に見える場所にあればと思います。
- ・雑貨を販売させていただいています。売上はまちまちですが、新商品を出すことは、なかなか難しく、いつも同じ商品になってしまうのが気掛かりです。支払い用缶は、良い感じですよ。
- ・低価格の商品に限定して販売した。
- ・後半はあまり参加できなかったですが、売上はかなり良かったように思います。

コープこうべ大久保店での販売活動 参加した 5 ・ 参加していない 8

- ・販売の場所によって客足が影響されるのは感じました。
- ・レジ後ろの販売場所では、なかなか商品を見てくれませんでした。ワークショップ付近での販売や出入り口付近での販売では、商品を手にとってくれる方が多かったです。
- ・実際の店舗での販売は、利用者もスタッフもいい刺激をもらっている。お客様とのふれあいを楽しみに次回も是非、参加したい。
- ・参加していないので良く分からない。
- ・少し回数が増えればと思います。
- ・販売の回数が増えてほしいです。利用者さんも参加するのを取り合いになる程です。
- ・雨が降っていたこともあり、客足は良くありませんでしたが、興味を持って下さるお役様は多かったです。

(2) 製品づくりのスキルアップ(製品の質の向上)

講師：プリズムデザインラボ 畠 健太郎 氏

参加した 7 ・ 参加していない 6

- ・製品づくりもさることながら、市場ニーズの調査や他事業所の連携によって商品価値を上げる工夫を考えるべきではないか。
- ・製品の質及び販売の向上について、講師を招き、日々の実践に活かされていることを初めて知ることができた。
- ・写真の撮り方やディスプレイ方法についてなど、参加させていただいた。他事業所さんの工夫されている点も参考になり、交流もでき良かった。
- ・販売時に活用しています。
- ・今年度も、畠講師のおかげで、製品作りから更に発展し、販売の促進のためのディスプレイ方法や、接客のためのコミュニケーション方法を学ぶことができ、販売以外にも色々な場面で役立つ内容であったので非常に良かったと思います。
- ・自主製品を決まった所にただ置くだけではなく、一つの纏まりを作ったり、上下に置いてみたりすると良いと教えて下さり、商品が以前より見やすくなり、色々と勉強になりました。

(3) 事例検討(支援の質の向上)

参加した 8 ・ 参加していない 5

- ・参加していないが、事例検討のみの開催をすることも一つかと考える。
- ・携わったことのない部分でどのように支援をされているのか、知ることができました。また、グループワークであったので、どのような関わり方・支援方法があるのか、様々な立場からアイデアを聴く機会にもなり、貴重な時間でした。
- ・今回の事例研究では、グループワークをした際に出た支援のアイデアについて、自身の事業所でも実践可能なものもあり、実際に取り組んでみたいと思った。
- ・自身の領域外、意識外の意見が聞け、良い学びとなりました。事例検討については、年2～3回程、開催しても良いかと思いました。
- ・普段、他事業所との交流をすることがあまりないスタッフが参加。緊張もあったが、色々な意見を聞き、話し合う機会が持てたことに感謝しています。
- ・事例提供側にとっては、大変な準備もありますが、やはり、色々な意見が聞け、実施することで得るものは非常に沢山あると思いました。
- ・来年度も必ず、実施しなければと改めて感じました。
- ・皆さんの色々な意見を聞くことができ、良かったです。

3. 今後、取り上げてほしいテーマや活動などございましたらご意見をお聞かせください。

- ・他事業所の取り組みを聞けて支援の参考になっています。
- ・福祉事業所全体としての共同発注や連携生産などができれば良いと思っている。
- ・B型事業所だけではなく、生活介護事業所でも生産活動を行っている所も簡単な作業の紹介や共有ができればと良いのではないかとと思っている。
- ・製品作りや販促の質の向上に向けたワークは引き続き、実施してもらえたらと思う(参考になることが多い)。
- ・事例検討も年1～2回はあっても良いかと思う。
- ・事例検討(支援の質の向上)色々な事例をもって他事業所さんと検討していきたい。
- ・仕事や販路(野菜などの自主製品)の開拓の仕方などを教えていただきたいです。

ワーキング③ 「はたらくなかまのつどい」

活動目的

就労している方達や就労を希望する方達が余暇を楽しみ、交流する機会をつくることで、エンパワメントとQOLの向上を目指す。

また、余暇活動の企画から運営まで当事者が主体的に参画できる仕組みも検討していく。

担当委員・オブザーバー

Small Steps	馬場 麻里子
兵庫県立いなみ野特別支援学校	中西 園枝

コアメンバー

サポートセンター曙	寺本 圭子
明石市障害者就労・生活支援センターあくと	北代 淳
兵庫県立いなみ野特別支援学校	中西 園枝
明石市立発達支援センター	石井 彩乃
Small Steps OB	横山 園子
Small Steps OB	國田 浩二

活動実績

日時	
平成30年 8月 2日（金）	第1回コア会議 活動内容の検討
8月20日（木）	第2回コア会議
9月19日（水）	第3回コア会議
11月 6日（水）	第4回コア会議
11月17日（土）	第1回 はたらくなかまのつどい 2018 ～おうちでできる もっとおいしいコーヒー生活・ みんなの苦労。なんでもしゃべり場～
12月11日（火）	第5回コア会議
平成31年 1月19日（土）	第2回 はたらくなかまのつどい 2018 Let's ひとりぐらし講座 ～一人暮らしのいろんな話を、聞いてください～
2月 5日（火）	第6回コア会議 活動の振り返りと次年度の向けて

はたらくなかまのつどい 2018

障害を持ちながらはたらくことはしんどい?!
そもそもはたらくことって楽じゃない。
みんなどんな苦労をしているのかな?
どんな工夫があれば働きやすくなるのかな?
みんなでいろいろおしゃべりしましょう!



○おうちでできる「もっとおいしいコーヒー生活」

おうちのコーヒーをもっとおいしく楽しめるコツについてみんなで学びましょう
増澤珈琲【自宅】(笑) 増澤達彦

○みんなの苦労。なんでもしゃべり場

楽しく、いろいろ話しましょう。発表などはありません。聞いているだけでももちろんOK!

日時：平成 30 年 11 月 17 日 (土) 14:00～16:00

途中の出入りは
自由です

場所：アスパア明石 7 階 701 号室

対象：明石市に在住もしくは明石市にある会社（就労継続支援 A 型事業所の利用者も含む）で障がいを持ちながら働いている方。

参加費無料

【主催】明石市地域自立支援協議しごと部会

当日のスケジュール

13 : 30 受付
 14 : 00 つどい開会
 おうちでできる
 「もっとおいしいコーヒー生活」
 みんなの苦労。なんでもしゃべり場
 16 : 00 閉会
 ※途中参加、退席は自由です！！

◆申込み FAX 記入欄 締切 平成 30 年 11 月 5 日 (月)

名前 (年齢)	(歳)
紹介元(利用していた事業所)	
住所	
当日連絡がつく連絡先	
緊急連絡先	
備考 (必要な配慮など)	

【送信先】ファクシミリ番号
078-924-9134
 電子メール

k.ishida@theia.ocn.ne.jp

明石市基幹相談支援センター
 明石市地域自立支援協議会
 しごと部会 あて
 (問合せ先 : 南部、石田
 電話078-924-9155)



会場・アクセス

- 公共交通機関ご利用の場合 :
 JR 神戸線「明石駅」または山陽電鉄「明石駅」下車、
 南口ロータリーに出て左手。徒歩 3 分

はたらくなかまのつどい2018「なんでもしゃべり場」参加者アンケート

日時：平成30年11月17日(土) 14:00～16:00

場所：明石市生涯学習センター アスピア明石北館7階

参加者：14名

アンケート回収数：13名

(1)今日の感想をお聞かせください。

別紙

(2)今日は良いことがありましたか。

	集計
1.たくさんあった	10
2.ちょっとあった	3
総計	13

(3)今後同じようなイベントがあるとすれば、平日か土日祝日か、どちらが参加しやすいですか？

	集計
1.平日	2
2.土日祝日	11
総計	13

(4)今後どんな内容のイベントに参加したいですか？

別紙

(5)今後「はたらくなかまのつどい」があればスタッフとして参加することを希望しますか。

	集計
1.はい	6
2.いいえ	5
3.未記入	2
総計	13

(6)ご意見がございましたらご記入をお願いします。

別紙

(1)今日の感想をお聞かせください。

- ・お互いに会話をできて、よかったと思います。
- ・はじめてカフェ話し合い、良かった。
- ・とても楽しかったです。
- ・皆と会話ができ良かったです。いろいろなやみとかがきけて相談もできて次回もこのつどいの会に参加したいです。
- ・仕事のお話より、バンドやピアノやコーヒーや、そうじや、趣味の充実が大切だと思いました。ただ、そこまでレベルが高いものは自分にはできないかもしれない
- ・皆さん、多趣味で、いろいろと交流が出来て発見が大きかったです。ON、OFFの使い分けが大切!!
- ・利きコーヒー楽しかったです。人とわいわいできるのはとても楽しいです。もっと話せるようになりたいと思いますが、コミュニケーションはやはりとてもむずかしいです。
- ・コーヒーの試飲とか出きて良かったです。
- ・コーヒーは仕事の日も休日もよく飲んでいます。コーヒーのテストはおもしろかったです。絵も見て下さりありがとうございます。
- ・楽しかったので良かった
- ・いろいろ話せて良かったです。
- ・久しぶりに楽しく話せました。
- ・色々な仕事について話がきけて良かったです。

(4)今後どんな内容のイベントに参加したいですか？

- ・今のふんいきのままでよい。場所はどちらでもいい。誰でも気軽に参加するのがいいと思う。
- ・参加費がないので参加しやすかったです。
- ・ASUPIAのイベントとれんけいした内容で参加したい。（おみくじのようなもの）
- ・今回のような、いろんな人と仕事や趣味の話をしたいです。なかなか職場では、ゆっくりと人と話をする機会がないので
- ・音楽会 ・スポーツ ・野球 ・インドア
- ・個人的にピアノをひくので、既存の曲や、作った曲などを発表したいです。
- ・何かの体験がしたいです。
- ・今回の様に就労に関する話す場があれば助かります。

(6)ご意見がございましたらご記入をお願いします。

- ・悩みなどをうちあける場としてとても良い機会でした。ありがとうございました。
- ・今後もなかまのつどいに参加したいです
- ・何回か参加させてもらいました。話し合いのメンバーの個性によってずいぶん内容はかわると思いました
- ・忙しい中、準備してもらって、楽しい時間を有難うございました。皆会える日を楽しみにしています。
- ・参加者として気をつかわずに楽しみたいので、スタッフはしんどいかなと思いますが、応相談なのでよかったら声をかけて下さい。
- ・コーヒーを飲めてたのしかったです。絵はほめて下さりありがとうございます。
- ・野球がしたい

Let'sひとりぐらし講座



いつかは「ひとりぐらしをしたい」けど不安な方へ…

一人暮らしのいろんな話、聞いてください。

- 障害をもち、働きながら一人暮らしをしている方の体験談
- 「ぼくの暮らしはこんな感じ」映像紹介
- 「だけど心配!」「こんな時はどうすればいいの?」何でもしゃべり場（質問コーナーもあります。）

日時：平成 31 年 1 月 19 日（土）14:00～16:00

場所：アスパア明石 7 階 号室

対象：明石市に在住もしくは明石市にある事業所で、障害を持ちながら働いておられる方。

参加費無料

【主催】明石市地域自立支援協議しごと部会

当日のスケジュール

13 : 30 受付
 14 : 00 つどい開会
 一部 「一人暮らしのいろんな話、聞いてください」
 ～働きながら一人暮らしをしている方の体験談と生活場面の映像紹介～
 二部 「自由に交流会」
 ～何でもしゃべり場～
 16 : 00 閉会

◆申込み FAX 記入欄 締切 平成 31 年 1 月 8 日 (火)

名前 (年齢)	(歳)
紹介元(利用していた事業所)	
住所	
当日連絡がつく連絡先	
緊急連絡先	
備考 (必要な配慮など)	

【送 信 先】 ファクシミリ番号
078-924-9134

電子メール

k.ishida@theia.ocn.ne.jp

明石市基幹相談支援センター

明石市地域自立支援協議会

しごと部会 あて

(問合せ先 : 石田、南部

電話078-924-9155)



会場・アクセス

●公共交通機関ご利用の場合 :

JR 神戸線「明石駅」または山陽電鉄「明石駅」下車、
 南口ロータリーに出て左手。徒歩 3 分

はたらくなかまのつどい2018「Let's ひとりぐらし講座」参加者アンケート

日時：平成31年1月19日(土) 14:00～16:00

場所：明石市生涯学習センター アスピア明石北館7階

参加者：28名 アンケート回収数：24名

性別

1.男性	15
2.女性	9
総計	24

年齢

1.10代	4
2.20代	8
3.30代	6
4.40代	1
5.50代	2
6.60代	2
7.未記入	1
総計	24

(1)今日の「はたらくなかまのつどい」があるのは誰から聞きましたか。

1.施設からの案内	20
4.その他	4
総計	24

その他：・本日午前中に教えてもらいました。

どこかのルートから早めに連絡をいただきたかったです。

・明石市立発達支援センター 3名

(2)今日の「はたらくなかまのつどい」に参加して良かったですか。

1.はい	23
3.その他	1
総計	24

その他：ふつう

(3)今日の感想をお聞かせください。

別紙

(4)今後も「はたらくなかまのつどい」があれば参加したいですか。

1.はい	22
2.いいえ	1
3.未記入	1
総計	24

(5)今後どんな内容のイベントに参加したいですか。

別紙

(6)今後同じようなイベントがあるとすれば、平日か土日祝日か、どちらが参加しやすいですか

1.平日	4
2.土日祝日	18
3.未記入	1
4.どちらでも	1
総計	24

(7)今後「はたらくなかまのつどい」があればスタッフとして参加することを希望しますか

1.はい	11
2.いいえ	10
3.未記入	3
総計	24

(8)ご意見がございましたらご記入をお願いします。

別紙

(3)今日の感想をお聞かせください。

- ・いつか自分も一人暮らしするんだなぁーっと思いました。
- ・1人暮らしをされてる方のアドバイスや、苦労したことなどをきけてよかったです。
- ・一人暮らしは大変で楽しい生活だなと思いました。
- ・1人暮らしに高校当時から興味あったので質問できたので良かったです
- ・一人暮らしの話を聞いてみて参考になりました
- ・ヘルパーだとか、サポートをしてくれる方がいるというのが分かって今日は勉強になりました。
- ・人前で話すのはきんちょうしました。いい経験になりました。また話を出来たら良いと思いました。
- ・一人暮らしは私も親がいなくなったら通る道なので、とてもためになりました
- ・一人暮らしに興味ある仲間がたくさんいて、何とかできる気持ちになりました。
- ・ひとりぐらしに向けての参考になりました
- ・いろんな1人ぐらしの、男性の映像を見れて、とても信じられないくらいすばらしく、きれいを実感しました。私もがんばりたいと思いました。
- ・皆さん工夫されてひとり暮らししているなと思いました。
- ・色々勉強になった
- ・実際にひとりで暮しているかたの、発言はどれもわかりやすかったです。県や市営住宅など、診断書を出せば、班長を免除されるのは、いい方法だと思いました
- ・具体的でまた個人個人の生活のちがいなど多様なお話を聞くことができてよかったです
- ・一人暮らしをするのはかなり苦難があると思いましたが、聞いてみるととても参考になりました。魔法の言葉「なんとかなる」を心に大切に残しておきます。
- ・実際1人暮らしをして色んな人と話を聞いて気を付けないといけない部分も沢山あった。
- ・ちゃんとみんなの前でおしゃべりができたこと
- ・職員として引率で参加させていただきましたが、1人暮らしをされている方がどのような生活をされているのかよくわかりました。ご利用者さんたちの参考になったと思います。
- ・実際にひとり暮らしをされている方々の現在の様子や、困っている事などを聞きことが出来て良かったと思います。支援の参考にしたいと思います。
- ・一人暮らしを考えている方が多く、どんな不安な事や聞きたい事があるのかを知れて支援者として学びになりました。一人暮らしを希望されている担当ケースの方に「なんとかなる！」と声をかけて応援していきたいです。
- ・具体的な事例が聞けて良かった
- ・たくさんの方がひとり暮らしを考えているんだなと感じました。子どもにも今から自覚してもらいうい機会だと思いました。

(5)今後どんな内容のイベントに参加したいですか？

- ・特になし ・話し合って楽しむイベント
- ・フェス（音楽関連） 音楽を歌手を知って欲しいからライブ風で
- ・みんなで体を動かす、あるいは、でかけるような事がしてみたいです。
- ・コミュニケーションをとる練習をしたいです
- ・仕事（就労）について ・じこしょうかいのこと
- ・こういうひとりぐらしや、お仕事での困難をどのように、のりこえてこられたかみんな知恵だしたい。タイプ別、嫌な先輩とのつきあい方など
- ・就労について等
- ・よか活動について

(8)ご意見がございましたらご記入をお願いします。

- ・特になし

- ・健常の方との交流が増えて、恐怖だとか少しでも無くなったらいいなと思います。スタッフになるならば自分の場合「障害」をふせていただけたら助かります。同等、対峙にいたい、ありたいので。

- ・こういう機会でお話することは少ないので、やってみて良い経験になりました。

- ・時間が合えば参加したいです

- ・普段話さない人とも話せました。

- ・自分の体験でも役に立つのであれば、伝えたいです。また、人の意見も取り入れて、進んでいきたいと思います。

- ・どういことをするのかして見たいから

- ・今日の質問と答などA4の紙にでも、本人の許可を得て紙面にするとともにいろんな人、聴覚しょうがいの方などでも、見る事ができて役に立つし、何かの用事で本日この会に参加できなかった人もこんなことを勉強しているのなら次回には参加しようかなと思ってくれるかもしれない

- ・質問が個人的な内容で積極的に聞けなかったのが申し訳ありませんでした。また参加させていただきます

- ・もっと詳しい概要等、数え切れない程お聞きしたいことがあります。

- ・みやもとさんがきたらよろこんでとんできます。

- ・3名のそれぞれの暮らし方があり、とても参考になりました。また機会がありましたら参

平成29年度 明石市地域自立支援協議会

しごと部会 リポート V o 1 . 25 平成30年12月13日発行

発行元：明石市地域自立支援協議会 しごと部会 事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター 1階）
電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています

はたらくなかまのつどい 2018

第1回行事「もっとおいしいコーヒー生活」&なんでもしゃべり場

今年度の第1回「はたらくなかまのつどい」を11月17日(土)午後、アスパア明石にて開催しました。参加人数14名、スタッフ8名でした。



第1部はコーヒープログラム「おうちでできる、もっとおいしいコーヒー生活」と題して、自他ともに認める?!「コーヒー通」増澤達彦さん（Small Steps なゆた支援員）が、自らのコーヒー遍歴をおもしろおかしく語ってくれました。また増澤さんが今までに集めたコーヒーグッズの数々を紹介。年代物のコーヒー

豆挽き器から最新の「バリスタ」まで、みなさん興味津々の表情でした。

最近では、お手軽にコンビニなどでもおいしい淹れ立てコーヒーが飲めます。

ということで、利き酒ならぬ『利きコーヒー』の時間へ。スターバックス、マクドナルド、セブンイレブン、ローソンのコーヒーを飲み比べて、どここのコーヒーかを当ててもらいました。なかなか難しかったですが、全問正解の方がお一人いらっしゃいました。

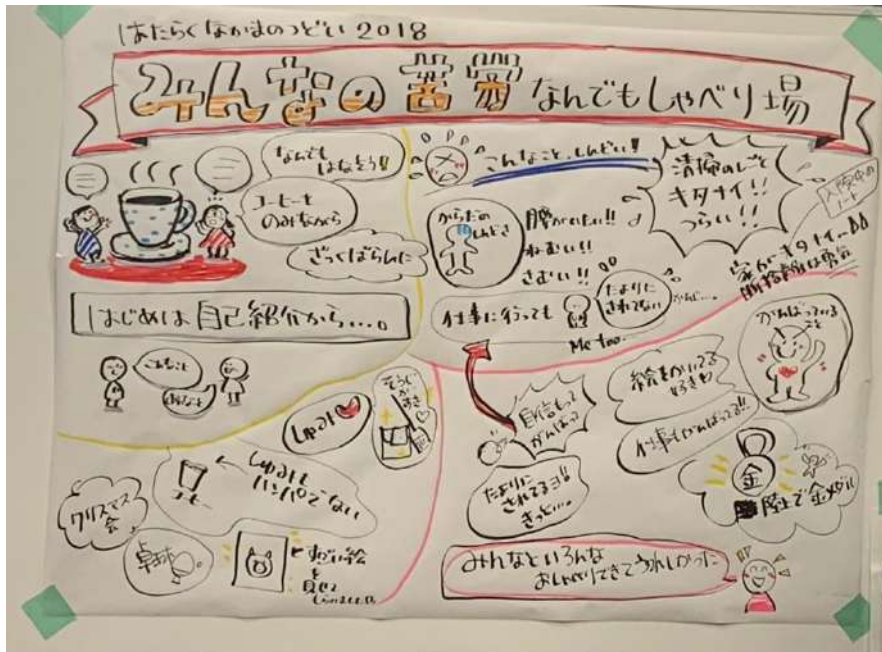
第1部の最後は実演、ドリップコーヒー、バリスタでの淹れ方を教わり、それぞれ好きなコーヒーをチョイス。ちょっとした工夫、ちょっとひと手間で、いつものコーヒーがよりおいしくなるようです。最新のグッズ、バリスタには列ができるほど人気でした。そしてコーヒータイム。それぞれコーヒー談議に花が咲いていました。



コーヒーのそばには、いなみ野特別支援学校高3 食品加工班のスノーボールとブラウニーを添えて。



第2部は「みんなの苦勞。なんでもしゃべり場」コーヒーの心地よい香りが残る中、3つのテーブルに分かれてのおしゃべり。「コーヒー」が心をいい具合にリラックスさせてくれていたようで、自己紹介や職場の様子などいろいろな思いを話す中で、ぽろっと「仕事にいてもねえ〜」「どうして?」「わたしなんか頼りにされていない感じがし



盛り上がってきたところで、お開きの時間。もうちょっと話し足りないという感じもしましたが、また次回へとつながることにして、2時間のつどいは終了。

今回のつどいでなんといっても特筆すべきは、企画の段階から当事者のお二人が参加、いろいろなアイデアを出してくださり、当日もスタッフとして活躍、今までにないものとなりました。ありがとうございました。最後にとったアンケートでも、複数の方がスタッフとして参加希望と答えていただけたことがうれしく、また本当に実りある「はたらくなかまのつどい」だったと感じました。

（文責 いなみ野特別支援学校 中西）

○今日は良いことがありましたか。	たくさんあった	10	ちょっとあった	3
○このようなイベントの開催はいつがいいか		平日	2	土日祝日 11
○「はたらくなかまのつどい」のスタッフとして参加希望		はい	6	いいえ 5
○感想意見	抜粋			

- 34

平成30年度 明石市地域自立支援協議会

しごと部会 リポート V o l . 2 6 平成31年2月15日発行

発 行 元：明石市地域自立支援協議会 しごと部会 事務局（ 明石市基幹相談支援センター ）

住 所：明石市貴崎1丁目5番13号（ 明石市立総合福祉センター 1階 ）
電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています

はたらくなかまのつどい 2018

第2回行事「Let's ひとりぐらし講座」

今年度第2回目の「はたらくなかまのつどい」を1月19日（土）午後、アスパア明石にて開催しました。「いつかは1人暮らしをしてみたい！・・・けど不安もある」そんな気持ちをお持ちの方々へ向けた、「障害をもち、働きながら1人暮らしをしている方の実際」を知って頂く機会となりました。



第1部は「1人暮らしのいろんな話し、聞いてください」と題し、実際にグループホームや地域でお一人暮らしをされている方々を3名お招きし、生活の状況などをお話し頂きました。

なんと、1人暮らしの家の中の映像や写真を交えたお話しを聞かせて頂くことができ、参加された皆さんは、身を乗り出して映像や写真をご覧になられていました。具体的なイメージが広がったのか、「へ〜」「そうなんや！」と、思わず声が漏れる方も。

第2部は「何でもしゃべり場」と題して、コーヒーなどの飲み物で喉を潤しながら皆さんで交流会。

第1部で聞いたお話しをもとに、グループホームや1人暮らしのことを質問することに。「1人暮らしに必要なお金は？」「家事のこと」「物件探しはどうすれば」「近所づきあいて？」1人暮らしとは切っても切り離せない話題がたくさん・・・、その中でも「家事」は毎日必要になってくるものです。料理、洗濯、掃除 etc. 3名のお話しでも共通して出てきた話題でした。

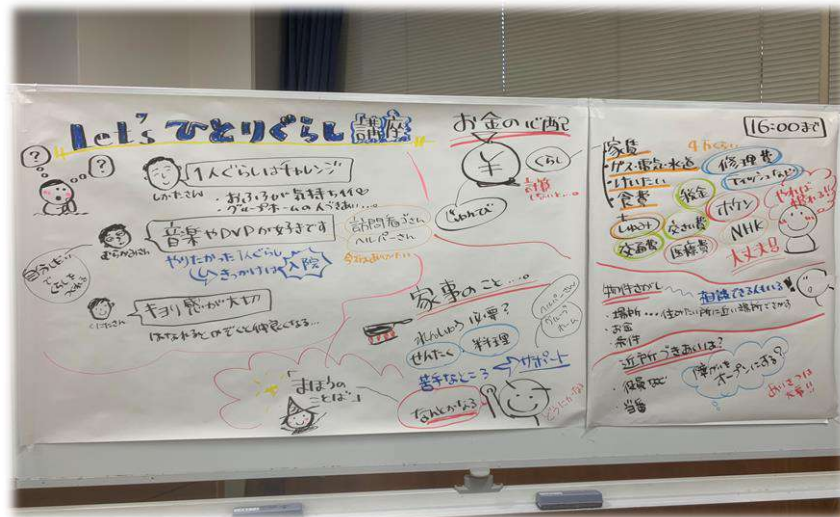
グループホームでは、自分でやる必要のある部分と世話人さんが整えてくれる部分があるとのこと。たとえば料理やゴミだしなどは、世話人さんにサポートして頂けるようです。

1人暮らしをされている方は、毎日の料理は自分で。ただ、掃除などはヘルパーさんと一緒に行うなど、その人が生活するのに「必要な部分のサポート」を受けることができるとのこと。

「なんでも1人でやらなくちゃいけない！」ということではなく、必要なサポートを受けながらの生活もあるんだなあ〜と、気づきを頂きました。

続いての話題は、「お金」でした。家賃や水光熱費、食事など。「実際に生活していくためにはどのくらいのお金が必要なの？」当然、気になるし考えなくてはいけない部分です。

大切になるのは、「どこに、いくらお金が必要か」を把握しておくこと。皆さんで知恵を絞り、生活の中で「お金が必要な部分」を一緒に考えました。趣味や交通費、保険や雑費など、挙げてみるとたくさんありましたが、ここで1人暮らしを実際にされている方から一言「やれば慣れる！」・・・なるほど。実際に経験していないことに不安・わからないことができることは当然。でも実際にやることで必要な手順や頻度がわかってくる。1人暮らしをされているからこそ出る言葉に、皆さん、安心づけられたようでした。



働きながら1人暮らしをしている方の実際のお話しや映像で、具体的なイメージを掴むことができた方、直接質問することで1人暮らしを少しでも身近に感じることができた方、この時間を通して、多くの気づきや自信に繋がられた方々がいらっしゃったようです。

真剣にお話しを聞く・積極的に質問をされる参加者の方の姿を見て、改めて「1人暮らし」という話題に対する興味と必要性を感じさせられました。

今年度の取り組みを通じて得た気づきや教訓をもとに、より一層明石地域の「はたらくなかま」へ向けた取り組みを深めていくことに繋がっていきたいと思います。

(文責 明石市障害者就労・生活支援センターあくと 北代)

アンケート結果 (回収 24)

- 「はたらくなかまのつどい」に参加してよかったですか。 はい 23 普通 1
- このようなイベントの開催はいつがいいか 平日 4 土日祝 18
- 「はたらくなかまのつどい」のスタッフとしての参加希望 はい 11 いいえ 10
- 感想意見 抜粋

- ・1人暮らしをしている方のアドバイスや、苦労したことなどをきけて良かったです。
- ・1人暮らしは高校当時から興味があったので、質問できたので良かったです。
- ・1人暮らしに興味のある仲間がたくさんいて、なんとかできる気持ちになりました。
- ・自分の経験でも役に立つのであれば、伝えたいです。また、人の意見も取り入れて、進んでいきたいと思っています。

ワーキング④ 「明石就労支援ネットワーク」

活動目的

明石市における障害者の一般就労について具体的に検討するワーキングチームとして位置づけ、明石市第4次障害者計画（1－1、1－2、1－3）の実現を念頭に置き活動する。企業で働くために、働き続けるためにという視点を持ち、各機関が有機的に連携しながら明石市全体の就労支援のスキルアップを目指す。

担当委員

明石市障害者就労・生活支援センターあくと 鳥居 健一
明石公共職業安定所 高下 京子

コアメンバー

明石市障害者就労・生活支援センターあくと 職員

ガイドブックプロジェクト 担当メンバー

サポートセンター曙 山崎 正幸
明石市障害者就労・生活支援センターあくと 鳥居 健一
明石市障害者就労・生活支援センターあくと 三木 浩子
就労移行支援施設ハンズ明石 川津 裕子
兵庫県立いなみ野特別支援学校 中西 園枝
障害福祉課 神納 真弓

活動実績

日時	内容
平成30年 4月27日（金）	ガイドブックプロジェクト 第1回コア会議
5月17日（木）	第1回定例会
6月20日（水）	ガイドブックプロジェクト 第2回コア会議
8月23日（木）	第2回定例会
9月14日（金）	ガイドブックプロジェクト 第3回コア会議
10月30日（火）	ガイドブックプロジェクト 第4回コア会議
11月20日（火）	ガイドブックプロジェクト 第5回コア会議
11月22日（木）	全体会
12月19日（水）	ガイドブックプロジェクト 第6回コア会議
平成31年 2月22日（金）	第3回定例会

（白紙）